



埼玉協婦人学校『格差と貧困』

埼玉協第一回婦人学校『格差と貧困を考える』が開催

9月26日(火)午前10時から与野コミュニティセンターにて、埼玉県商工団体連合会婦人部協議会(埼玉協)主催のセミナーが開催されました。全県から70名が参加しました。浦和婦人部から6名が参加しました。

午前の講演は、反貧困ネットワーク副代表でジャーナリスト・作家・活動家の雨宮処凛(あまみやかりん)さんを招きインタビュー形式で行われました。また雨宮さんは、公平な税制を考える会に所属して中小業者と関わりを持ち広く活動を行なっています。テーマは『世代を超えた暮らしへの不安が広がる中なか、今の日本の現状や貧困の原因を学び、今後の運動の方向性を学ぶ』。

日本で現在40%が非正規雇用、年収は平均168万円。病院にいけない、結婚できない、子どもを作れない、私たちは絶滅危惧種だと。たとえ正社員になれても残業代込みの給料・労働基準法を無視したブラック企業の横行でワーキングプアが老若男女問わず広がっています。人生に希望が見えない、新自由主義の拡大解釈の自己責任論の横行で声の上げ方が解らない。ここに政治の失敗があるのに。と雨宮さんは質問に答える形で丁寧に話をされ自己責任社会の生き方を問うておられました。

午後の講演は、彩の国子ども若者支援ネットワーク代表理事で埼玉県立浦和工業高等学校教諭の白鳥 勲(しらとりいさお)さんによる『未来を担う子どもたちが、経済的理由で将来の夢が絶たれないように、そしてわたしたちの親の経済的不安をどのように軽減できるか』でした。

白鳥さんは、県内の中高生がいる世帯1000件を訪問し見えない子どもの貧困の実態を調査、憲法や、就学援助制度、奨学金について資料、ビデオを使い報告してくださいました。

最後に埼玉協は、『格差と貧困から未来やいのちを守る運動提起』を行ない、①制度の利用拡大と自治体へ制度の拡充②格差と貧困の責任は、政府にある。安倍暴走政治の退陣を求める。③婦人の困難打開のために10月26日(木)全国業者婦人決起集会へ大結集を提案、全会一致で採択されました。



雨宮処凛さん



子どもの貧困の実話を聞き、会場からは、時折すすり泣きの声があふいた。

浦和民商ニュース

発行
浦和民主商工会
www.minsyoo.jp

さいたま市浦和区本太
5-38-3
Tel. 886-5200
FAX 886-5454

urawa@minsyoo.jp



第一回秋の拡大統一行動を行ないました。

区支部	会員			歳者			共済			婦人部			青年部			署名		
	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残	目標	達成	残
浦和	12	1	11	30	2	28	12	1	11	12	12	2	1	1	1220	35	1185	
桜	12		12	30		30	12	2	10	12	12	2		2	1190	135	1055	
南	12		12	30	1	29	12		12	12	12	2		2	1430	835	595	
緑	12		12	30		30	12		12	12	12	2		2	1330	236	1094	
合計	48	1	47	120	3	117	48	3	45	48	0	48	8	7	5170	1241	3929	

9月24日(日)午前9時30分から11名の参加で行ないました。香田会長中心に5組に分かれ、宣伝カー運行や、商店訪問、オリジナルパンフを1450枚配布しました。この日の成果は、会員1名、新聞3部、共済1名、青年部1名の拡大と、国保と所得税法56条の署名あわせて1241筆集まりました。

お昼は、婦人部のみなさんのご協力、浦和民商特製カレーと美味しいお料理を頂き、午後事務局が会員訪問を行ないました。



第6回うらわ民商まつり開催決定!

11月12日(日)午前10時より開催決定!

テナント出店・展示、広告掲載の募集を行ないません。お気軽にご参加ください。

テナント1ブース:500円。展示は無料。

チラシ裏面広告掲載料:2000円

詳細は事務所まで。

共済会バスハイクの申し込みを開始します 美味しい海鮮料理と温泉バスハイク

11月5日(日)千葉県銚子 太陽の里

参加費:4,000円(共済会員)

6,000円(未加入の方)

小学生以上は4,000円

10月20日(金)締め切りです。FAX、電話、最寄の役員までお申し込みください。

